

県立大生 通訳ガイドに

県が
委嘱 訪日客へ岡山情報発信

岡山県は11日、外国バウンド（訪日客）を日客へのガイドをはじめ人観光客に若者目線で取り込むため、観光地め、インスタグラムへ岡山の魅力を伝えてもでの案内やSNS（交の観光情報の投稿やPらおうと、県立大（総流サイト）での情報発Rグッズの作製を計画社市窪木）の学生39人信に当たってもらう。している。

11日は代表の学生が「スチューデントアアテナントは県が伊原木隆太知事から委テナント（学生通訳2021年度から委嘱状を受け取った後、ガイド）」を委嘱した。嘱。1年生く大学院生9人が後楽園で初回の新型コロナウィルス禍の有志が担い、後楽園ガイド研修に取り組んだ。外国語対応を担うから復調しているイン（岡山市）などでの訪スタッフの案内で園内を巡り「笑顔でゆっく

りと話すことが大切」などと注意点を学んでいた。

後楽園の外国語対応スタッフ（左）からガイド時の注意点を学ぶ学生

保健福祉学部4年の筒井佳穂さん(21)は「岡山という知らない地を訪れた外国人にもこの場所を好きになってもらせるよう、寄り添えるガイドをした」と話していた。



(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。